



プレストン・サングスターさん
Preston Sangster

〔岩下一区〕

エリン・サングスターさん
Erin Sangster

〔岩下一区〕

サングスター夫妻 / 外国語指導助手。平成28年8月に着任。町内の小・中学生に英語をわかりやすく教えている。手作りの英語コーナーは子どもたちからも人気。

発音や文法を恐れなくて 英会話を一緒に楽しもう

「授業だけでなく、教室の外でも、子どもたちとコミュニケーションを取り取る機会を作っています。たくさん話し掛けてください」と話すのは、プレストンさんとエリンさんのサングスター夫妻。プレス

トンさんは町内中学校の外国語指導助手（ALT）として教壇に立ち、小学校で活動するエリンさんとともに本町の英語教育に携わっている。

2人はアメリカのテネシー州出身。「甲佐は山々が近く、

人が温かいところが故郷と似ている」と語る。本町に来て始めた空手や、町農業研修センター「ろくじ館」での英会話教室を通して、日本での生活と交流を楽しんでいる。

「子どもたちとの会話が楽しい」と話す2人は「授業を重ねるうちに、教室の外でも話し掛けてくれるようになりました。休日に出会ったときを声を掛けてくれるなど、積

極的に英語に挑戦する子どもたちが育っています」と喜びを感じている。

授業以外にも交流して英語力を高める機会を増やすために、各校に手作り英語コーナーを制作。写真やイラストを使って英語を掲示し、普段の生活の中で英語に親しんでもらえるよう工夫を凝らす。手紙の受付ポストも設けてすべてに返事を2人でいてねいに書く。

「小学生はみんな身近なものを持って来て英語で何というのか質問してきます。反対に、私も子どもたちから、かくれんぼなど日本の遊びをたくさん教わりました」とエリンさん。プレストンさんは「中学生は、授業で学んだ単語でやり取りができるので楽しいです。給食を一緒に食べながら、学校のことやアメリカや日本のことなどを話したりします」と心を弾ませる。「完璧な英語じゃなくてもいいので、間違いを怖がらないでどんどん話し掛けてみてください」と、2人は英語から広がる世界と未来を指差す。

広報 こうさ

2018年（平成30年）9月号
通巻590号